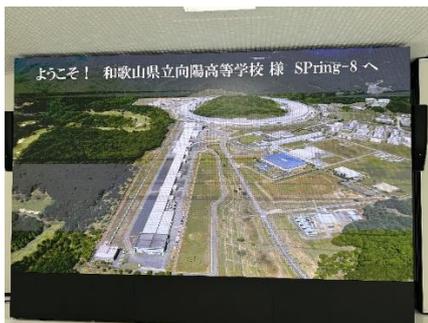




1年生 研究室訪問（ラボツアーⅠ）SPring-8

6月7日（金）、1年生を対象に**研究室訪問（ラボツアーⅠ）**を実施し、兵庫県にある「**SPring-8**」を訪問しました。そこには、世界最高クラスの放射光を発生させることができるX線自由電子レーザー（SACLA）と大型放射光施設（SPring-8）があります。物理基礎の授業にて、SPring-8で放射光が発生する過程やSPring-8とSACLAの違い、スーパーボールを使って実験を通して科学的に考える過程を学び、実際に施設を訪れて、SPring-8とSACLAのビームラインや研究現場を見学しながら、化学反応の状態や過程、物質の元素分布、タンパク質などの生体分子の生体内での正確な構造解析ができることを学びました。さらに、はやぶさが小惑星イトカワから持ち帰った石をSPring-8で分析し、生命の痕跡である水や有機物が含まれていることも学びました。また、生徒からの質問も活発で、「電子は磁石で何度くらい曲がりますか？」、「放射光を使って、将来やりたいことは何ですか？」、「放射光の取り出し口の大きさはどのくらいですか？」、「放射光を使ってどのくらい小さいものが見えますか？」、「メンテナンスはどのくらいの頻度で行っていますか？」など施設や科学的な質問に加えて、「研究員としてやりがいを感じることは何ですか？」、「今までで最もわくわくしたことは何ですか？」のように研究員としての仕事に関する質問もありました。



南紀熊野ジオパーク探偵団の現地活動に参加！

6月8日（土）、南紀熊野ジオパークセンターが主催する「**南紀熊野ジオパーク探偵団『海洋環境を考える』**」に、高校生11名、中学生3名の計14名が参加しました。まず、6月5日（水）に事前学習で南紀熊野ジオパークセンターの橋爪正樹所長、和歌山大学教育学研究科の岡崎裕教授、京都大学学際融合教育研究推進センターの島村道代特定准教授からご講話いただき、SDGsや海岸漂着物等について学びました。現地活動は、白浜町日置にある志原海岸にて行いました。今回収集したのは人工の海流漂着物やゴミです。ペットボトルや食品用プラスチック容器、金属などを分類しながら拾い集めました。中には外国語の書かれた物までありました。各班で決められた区画のゴミの収集を1時間行いましたが、ものすごい量の人由来の物を集めることができました。

